

日本検査血液学会雑誌 論文投稿規定

1. **資格** 筆頭著者および責任著者 (Corresponding author) は日本検査血液学会の会員に限る。共著者も会員であることが望ましい。責任著者は投稿論文について全責任を負う。可能な限り共著者のうち指導的な立場の者を届け出ることとするが、やむを得ない場合は筆頭著者と兼任を認める。
2. **論文内容** 検査血液学の進歩に寄与するものとする。
 - 2-1. **論文区分** 論文の区分は、総説、原著、技術論文、資料、症例報告、技術講座、編集者への手紙、及びその他とする。「原著」は検査血液学についての独創的な研究、新規知見を報告する論文とする。「技術論文」は機器や試薬の検討など、「資料」は実験、試験、調査によって得られた各種データなど検査血液学に資する資料として有用なものとする。
 - 2-2. **二重投稿について**
他誌に未発表のものとする。以下のものは二重投稿とみなされる。
 - ・著書、研究会のproceedings、商業誌などの如何を問わず、すでに原著形式で発表されていて、対象が基本的に同じであり、方法が同じで結果、考察に新しいものがない場合、図表なしの学会抄録は除く。
 - ・総説であっても、対象が基本的に同じであり、方法が同じで結果、考察に新しいものがなく、同一内容の図表を用いた場合。
 - 2-3. **研究倫理に関して** ヘルシンキ宣言、疫学研究に関する倫理指針(文部科学省、厚生労働省)、臨床研究に関する倫理指針(厚生労働省)、「ヒトゲノム遺伝子解析研究に関する倫理指針」(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)、「動物実験の適正な実施に向けたガイドライン」(日本学術会議)等に従うこと。
3. **執筆要項**
 - 3-1. **概要** 和文または英文とし、希望の論文の区分を必ず明記する。(論文の区分は編集委員会の意向によって変更を指示する場合もある。)
原稿はワープロを用いてA4判にダブルスペースで印字する。
英文(文献を含む)の場合も同様にA4判にダブルスペースで印字する。
なお、共著者がある場合全員が本論文の投稿を承諾したことを確認し、筆頭著者または責任著者はその旨投稿承諾書に記載し、署名捺印すること。
 - 3-2. **論文の構成** 表題、著者名、所属、所在地、和文要旨、キーワード、および本文とし、図表をつける。本文には頁番号を必ず入れる。また、原稿の最後に英文で、表題、著者名、所属、英文要旨を明記するのを必須とする。著者全員の氏名、それぞれの所属と所在地を記す。さらに責任著者の氏名と連絡先住所、電話番号、FAX番号、電子メールアドレスを明記する。
 - 3-3. **論文の長さ** 要旨および文献を除いた本文の長さは、総説12,000字以内、原著、技術論文、資料、技術講座8,000字以内、症例報告6,000字以内、編集者への手紙3,000字以内、その他5,000字以内とする。
図表、写真は、1点につき400字換算し上記の文字数に含める。
 - 3-4. **表題** 表題は内容を簡潔、的確に明示するものとし略語はなるべく用いない。
 - 3-5. **要旨** 和文要旨は600字以内とし結論が明確にわかるように記載する。英文論文の場合も和文要旨をつけること。
英文要旨は表題、著者名(例: Kazuo YAMADA, MD)、所属、所在地、および論文要約(250 words以内で目的、成績、結論を示す)で構成する。
 - 3-6. **キーワード・ランニングタイトル** キーワードは5語以内とし、英語と日本語を併記(英文論文の場合は英語のみ)する。例: anemia (貧血)
ランニングタイトルは表題を簡潔に表すもので、日本語40字以内、または英語論文の場合80字以内とする。
 - 3-7. **記載上の注意** 本文の中で文献を引用するときは右肩に文献番号を振る。(例: 山田ら¹⁾⁻³⁾
略語を使う時は、本文初出時に正式名を記した後に括弧内に略語を記載する。
度量衡の単位は原則的にSI単位を用いるが、一般的なものはその限りでない。
 - 3-8. **文献** 文献数は原則的に総説100以内、原著、技術論文、資料、技術講座30以内、症例報告20以内とし、次の形式に則り、引用順に記載する。
(雑誌の場合) 著者名(2名までは併記、3名以上は筆頭著者氏名、他とする): 標題、雑誌名 巻: 頁一頁、発行年(西暦)
(単行本の場合) 著者名: 論文標題、単行本表題、編集者、頁一頁、発行所、発行地、発行年(西暦)
- 3-8-1. **凡例 邦文雑誌**
 - 1) 奈良英雄: 血液形態と遺伝子診断. 日本検査血液学会雑誌 1: 8-14, 2000.
- 3-8-2. **凡例 英文雑誌**
 - 2) Arico M, et al: Outcome of treatment in children with philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia. N Engl J Med 342: 998-1006, 2000.
- 3-8-3. **凡例 邦文単行本**
 - 3) 川合陽子: 線溶系分子マーカー. 実践臨床検査医学 渡辺清明, 他編, p404-405, 文光堂, 東京, 1998.
- 3-8-4. **凡例 英文単行本**
 - 4) Paraskevas F: Clinical flow cytometry. Wintrobe's Clinical Hematology 10th ed. ed Lee GR et al, p56-71, Williams & Wilkins, Baltimore 1999.
- 3-9. **図表** 図表、写真は、まとめて添付し、本文中に挿入すべき位置を明示しておくこと。
図の説明は論文の最後にまとめて添付すること。
写真は天地左右を明記すること。
カラー写真は1頁4~8枚で2頁以内とする。特にデジタルデータとして作成した図、写真は印刷製本に耐える鮮明なものとし、作成に用いたアプリケーションソフト名を明記する。なお、カラー写真の場合は実費が著者負担になる場合がある。
4. **論文の送付**
原稿(表紙・本文・文献・和文要旨・英文要旨・キーワード・図表の説明、図表も電子化するの望ましい)

のファイルを適当なメディアに電子化保存したものを、ハードコピー3部（表紙・本文・文献・和文要旨・英文要旨・キーワード・図表の説明・図表も含む）とともに書留便にて送付する。その際に、Macintosh又はWindows、使用ソフト名を明記する。対応できない原稿は返却する場合があります。

なお、連絡のため筆頭著者および責任著者の所属、住所に加え、電話番号、FAX番号、e-mailアドレスを明記する。

送り先：〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-46-10
株式会社 杏林舎内
日本検査血液学会雑誌編集室
電話：03-3910-4311 FAX：03-3949-4380
E-mail：JSLH@kyorin.co.jp

5. 論文の採否 論文は編集委員会の審査により採否を決定する。審査にあたっては原則として複数査読制をとる。
6. 校正と別刷 著者校正は原則として初校において行なう。印刷所から送付された校正は、必ず3日以内に返送すること。投稿者が連名の時は、校正の責任者と送り先を投稿の時に指示する。校正は間違いを訂正する程度とし、大きな加筆や訂正をしない。別刷を希望する時は、校正時に部数を明記して申し込み、その費用は、著者負担とする。（50部まで無料）
7. 著作権 本誌に掲載された論文の著作権は、原則的に日本検査血液学会に帰属するものとする。

（平成24年2月29日改定）